

提出金名：大西洋まぐろ類保存国際委員会メバチマグロ研究計画事業

国際機関等名	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (略称) ICCAT					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	21,348	175		1\$ = 122円	(2002年)	100
平成13年度	24,712	231		1\$ = 107円	(2001年) 42.2	100
平成12年度	24,250	231		1\$ = 105円	(2000年) 40.8	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2001年のもの	
1位	日本		42.2			
2位	EC		35.5			
3位	台湾		13.2			
4位	中国		4.6			
5位	スペイン		3.7			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ICCATは地中海を含む大西洋全体における高度回遊性魚類(まぐろ・かつお類)の資源管理を目的とした地域漁業管理機関である。大西洋においては日本漁船により年間でまぐろ類が重量で約4万トン、金額で約500億円が水揚げされており、我が国まぐろ漁業者にとって大変重要な漁場であり、ICCATによる科学的根拠に基づくまぐろ類の保存管理措置を支持しており、ICCATの活動を積極的に支持している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
ICCATにおいては、大西洋におけるまぐろ類の保存管理を目的として、毎年加盟国に対して拘束力を有する措置を含む新たな保存管理措置等が定められており、我が国としては、それらの措置の策定過程に積極的に携わっており、科学的根拠に基づくまぐろ類の保存管理措置を支持する立場にある。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	0 人 0 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
本年の年次会合において選出されるICCATの事務局長として、独立行政法人水産総合研究センター遠洋水産研究所の鈴木浮魚資源部長が立候補している。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。